

## 『あいさつと優しい心』

小城市立牛津小学校 6年 藤島 悠衣

みなさんは社会を明るくするためには何が必要だと思いますか。

コロナウイルスのえいきょうで毎日暗いニュースが続いています。

そんな今だからこそ笑顔であいさつをすることが大切だと思います。みんなが笑顔であいさつしコミュニケーションをとることで地域がつながり犯罪といった社会を暗くするものをなくしていけるのではないかと考えたからです。あいさつは、まわりをパッと明るくしてくれるまほうの言葉だと思います。あいさつをする側も、あいさつをされた側も、あいさつを交わすと笑顔になります。あいさつをし、きっかけを作ることで相手との会話が生まれ、より親しい関係になることができます。

私は、あいさつの素晴らしさを感じた、こんな経験があります。

小学4年生のころから母と地域清掃に参加しています。私の他はみんな大人の方ばかりですが、地域の人達とあいさつをすることにより会話につながりコミュニケーションをとることができます。「おはようございます」と元気にあいさつをすると「おはよう、また来てくれたね。ありがとう」と笑顔で喜んで下さいます。私を見つけ、声をかけてくれる地域の方々に私はいつも元気をもらっています。作業中も色々な方が話しかけて下さいます。今では顔と名前を覚えてもらい、登下校や他の地域で会っても声をかけて下さいます。

また一人ぐらしの方や高れいの方に「元気にしとかんばよ。なにかあったら電話してよかけんね」「奥さん入院しとうさつとやろ。一人で大丈夫ね」など、ご近所さんどうしで優しい声がけをよくしてあります。そのように心温かい近所の方に囲まれて私は生活して幸せだと思いました。困ったことがあれば、お互い

に助け合うことができる関係ができていると思いました。家族を大切にすること、ご近所さんを大切にすること、出会った人を大切にすることで社会を明るくすることにつながります。ニュースで「近所の人どうしでの声かけが多い町は犯罪が少ない」と聞いたことがあります。あいさつには、近所や地域の人とのコミュニケーションの機会をつくるなどつながる効果があります。周囲とつながることによって、自然と地域コミュニティが生まれ、不しん者にけいかいすることができます。地域が一体となって不しん者をよせつけないことにつながるので、私は地域活動に参加し笑顔であいさつをすることにより、地域の方々と仲良くすることができるようになりました。地域活動を通し人とのつながりが大切なことに改めて気づきました。いつもお世話になっている地域の人に感謝の気持ちを伝えるために、これからも地域の方とふれ合う機会を大切に、清掃活動を続けていきたいと思えます。